

母国語教室

こどもの未来研究室
英国国際教育研究所

募集要項

2021/2022

へいのちを支えることば

英国国際教育研究所

所長 凶師 照幸

人類が直立歩行するようになると、大脳が徐々に拡大する。直立歩行するようになる前と後とではその大脳の大きさには三倍もの開きがあるという。

ところがその直立歩行はまた、女性の産道の縮小をもたらす。そこで人間は、縮小した産道から拡大した頭を持つ胎児を安全に出産するために、つまりこの進化の矛盾を解決するために、胎児の頭が大きくなりすぎないうちに出産しようとする「生理的早産」を行うようになる。

そしてその結果、新生児は他のほ乳動物に比べて自立性の乏しい、つまり自分で立つことも、食物を探すこともできない存在として未熟なままこの世に生まれてくる。

そこには周りの人間の助けが必要で、その助けを求めるための言語が必要となる。へことばは我々がそのへ生を支えるための必然としてあったのである。コミュニケーションを支えるへことばは、へいのちを支える道具でもあった。

そのへことばをできる限り大切にしたいと思う。へひとという生物学的存在から、社会的存在としてのへ人間として、つまりはへ他とのコミュニケーションをあたたく、豊かなものとして成立させようとする、そういうへことばを獲得したい。

英国国際教育研究所(Institute of International Education in London=IIEL)は、英国ロンドンに本部を置く国際教育研究機関です。国際教育という視点から、教育本来の位置付けを試みるという理念の下、研究および教育実践活動を展開しています。英国の統一試験である中等教育終了試験(GCSE)および大学入学資格試験(GCE-A レベル)を実施する国の公的試験センター(National Examination Centre)としての活動や、日本語学、言語学、日本語教育、言語教育を研究対象とする「日本語教育協議会(The Council of Japanese Language Teaching=CJLT)」および日英の教育制度や教育問題さらに文化研究をその主たる研究対象とする「日英の教育と文化に関する研究協議会(The Council of Anglo-Japanese Education and Culture=CAJEC)」といった両学会の本部として、総会ならびに研究発表大会の開催、研究紀要や会報の刊行等の活動を行なっています。また、英国国際教育研究所の日本語教育学研究科は、「IQ-Professional / Postgraduate-Diploma」、「IQ-Professional / Postgraduate-Certificate」を授与する Graduate School として機能しています。さらに、研究所附属の外国語教育機関である London Language Centre(LLC)では、英国政府国際文化交流機関プリティッシュ・カウンシル認定の英語教育とともに、外国語としての日本語教育に取り組んでいます。

母国語教室は、現地校に通学する子どもたちを対象にした〈ことば〉の教室です。日本で生まれ日本に育つ人が学ぶ〈国語〉、日本以外で生まれ育った人が外国語として学ぶ〈日本語〉、そして、そのいずれでもなく、国際的な環境の中で日本的なバックグラウンドを持つ人が学ぶものにく母国語〉があります。

母国語教室の原点は、優しく豊かな〈ことば〉が学習者の体内で芽生えていくことです。英語の生活のなかで失われつつある日本語の力を、独自のカリキュラムと教授法で呼び戻し、育てていくための教室です。

〈ことば〉は、単なる道具ではありません。乾いた〈ことば〉ではなく、みずみずしい生命を持った〈ことば〉の学習を目指しています。

募 集 ク ラ ス

ク ラ ス	レ ベ ル	募集人数
基礎クラスⅠ・Ⅱ 基礎クラスⅢ～Ⅷ GCSE クラス A Level クラス (Year 1) A Level クラス (Year 2) ゼミ<新聞を読む>	日常会話の基礎をつくる 日常会話+日本語運用能力を育てる GCSE 試験対策 GCE-A level 試験 (2023 年受験) GCE-A level 試験 (2022 年受験) 日本の新聞を読む力を養成する	各 12 名 程度

※クラスによっては 12 名を超える場合もあります。

※A Level クラスは、全 2 年 (6 ターム) で構成されたコースです。

各クラスの到達目標

基礎クラスⅠ・Ⅱ

日本語に慣れ、日常会話の基礎ができることを目標にする。

基礎クラスⅢ～Ⅷ

日常会話力の向上・定着を目指すとともに、日本語運用能力のうちの「読む・書く」力の伸長も目標とする。

GCSE クラス

基礎的な日本語力のある生徒を対象として設置する。総合的な日本語運用能力の成長を目標とするとともに、英国における統一試験である GCSE JAPANESE の求める日本語力をつける。

A-Level クラス

中級程度の日本語力のある生徒を対象として設置する。総合的な日本語運用能力の成長を目標とするとともに、英国における統一試験である GCE-A level JAPANESE の求める日本語力をつける。

ゼミ<物語を読む・新聞を読む>

GCE-A level 以上の日本語力のある生徒を対象として設置する。日本語で書かれた物語や小説、あるいは日本語新聞を読む力をつけるとともに、日本の社会、文化等に関する分析力を養成する。

S ユニット A

ものがたり大好き

- ①まとまりのある物語を読むことによって、
日常に潜む真理を、日常には見えにくい世
界の可能性を知る。また、登場人物と共に
文学の世界に生きることによって自分を見
つめる目を養う。

【理解】

S ユニット B

一冊の本

- ①今まで自分の読んだ本のなかでもっとも感
動した本を一つ選んで、みんなに紹介する。
発表の前には、資料を作る。
- ②友達の発表する本を参考にして自分の読書
計画を立てる。

【言語事項・表現・理解】

S ユニット C

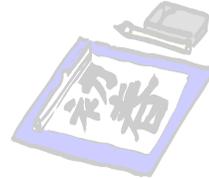
ことばのテスト

- ①定期的に、言語事項・理解・表現の各分野
についての確認をする。ペーパーテストの
みを意味するのではない。

【言語事項・理解・表現】

筆に親しもう(書道)

- ①太かったり、細かったり、濃かっ
たり、薄かったり…筆で書いた
字っておもしろいなあ。
- ②書道を通して、筆順や言葉の意
味を学ぶ。準備・後片付けを自分
でする。書道に取り組むときの
作法を学ぶ。



母国語教室の作文から

日本語はぼくにとても大事だとぼくは思います。母国語を大切にしないと自分のアイデンティティーがなくなります。だから、ぼくのように、イギリスの学校に通って、一日中英語を使っていると、ますます日本語を大切にしないといけないと思います。

けれども、それは少しまじめすぎる考えかもしれません。ぼくが日本語を勉強しようとするのは、言語を学ぶのが好きだからなのです。いろいろな国の人たちとコミュニケーションできるということはとても楽しいことです。

そしてまた、ぼくはとにかく日本という国が大好きなのです。日本人、日本の食べ物、日本の映画、全部好きですから、日本語も好きになって当然です。日本語ができなかったら、日本のテレビ番組やマンガは楽しめません。

日本が好きだから、日本のものが好きだから、自然に日本語も覚えていきます。たとえば、ぼくは日本のマンガを読むのが大好きです。いつも読んでるので、何回も出てくる漢字や言葉、日本人がすることなどをいつの間にか覚えてしまいます。

母国語を勉強するには、自分の国とその国の習慣、考え方や生活様式などに興味がないと楽しめないと思います。

言語の力、特に母国語の力をなくしては人間は自分自身を完全に理解することができないのです。

(Sくん GCSE クラス)



キャンパス

1) 土曜

St Marylebone C.E. School

住所：64 Marylebone High Street, London W1U 5BA

最寄駅：Baker Street、Regent's Park

2) 水曜

英国国際教育研究所

住所：Charlton House, Charlton Road, Charlton, London SE7 8RE

最寄駅：National Rail Charlton 駅（徒歩 10 分）

地下鉄 Jubilee Line North Greenwich 駅（バス 12 分）

※駐車場（有料）の利用は先着順で空きがある場合のみとなります。



授業形態

1) 基礎クラス（土曜・水曜）

授業は、上記キャンパスにおける教室での授業が原則ですが、新型コロナウイルスの感染の状況、政府発表によっては、あるいは学習効果を高める狙いから、一部もしくはターム全授業がオンライン授業となることもあります。

2) 試験クラス（土曜）

授業は、オンラインで開講します。

なお、GCSE クラス、A-Level クラス Year 2 の 98 期につきましては、原則オンライン授業となりますが、一部通学となる可能性があります（未定）。通学不可の受講生に対しては、（例えば、模擬試験については自宅受験にするなど）何等かの対処をします。



応募資格

- (1) 日本語を母国語として、あるいはそれに準ずる形で学ぶ児童・生徒。
 - (2) 真面目で学習意欲のある児童・生徒。
 - (3) 保護者が母国語教室の理念や方法を理解し、同意していること。
- *保護者が責任もって送迎すること。ただし、Secondary School の生徒は一人で通学してもよい。(保護者責任下)



出願手続

- (1) 出願期間 随時
- (2) 書類送付先 enquiries@iitel.org.uk
(注) 空き状況を確認の上、手続きしてください。
- (3) 提出書類等
 - ① 入学願書 別紙定型
最近3ヵ月以内に撮影した写真データ貼付のこと。
 - ② 言語環境調査 別紙定型
 - ③ 学費(注) 一旦提出された出願書類は一切返却致しません。

1 タームの学費

1) 土曜 (基礎・試験クラス)

一人の場合	£ 280.00
兄弟姉妹二人の場合	£ 504.00
兄弟姉妹三人の場合	£ 672.00

2) 水曜 (基礎クラス)

一人の場合	£ 135.00
兄弟姉妹二人の場合	£ 246.00
兄弟姉妹三人の場合	£ 357.00

学費の振込み先

HSBC Bank Plc
Branch Code: 40-11-58
Account Number: 80390305
Account Name: Institute of International Education in London

- (注)一旦提出された学費は、理由の如何を問わず(入学辞退、タームの途中で退学された場合も含む)、一切返却致しません。
- (注)基礎クラスの授業形態については教室での授業が原則ですが、新型コロナウイルスの感染の状況、政府発表によっては、あるいは学習効果を高める狙いから、一部もしくはターム全授業がオンライン授業となることもあります。オンライン授業となった場合も返金、割引、他のタームへの振替はございません。
- (注)学費には研究所で配付されるオリジナル・ハンドアウト以外の教材費(教科書代、オンライン授業時の印刷代等)は含まれません。ハンドアウト等は、Google classroomによって配付する場合があります。この場合は、印刷代は、受講生に負担いただくことになります。また、定期的に使用する教科書等を購入していただく場合があります。基礎クラス受講生には書道セットを準備していただきます。



Institute of International Education in London

www.iiel.org.uk

お問い合わせ先

IIEL, Charlton House, Charlton Road, Charlton, London SE7 8RE, UK

E-mail enquiries@iiel.org.uk